

平成30年度前期始業式 学校長訓話

おはようございます。本日から平成30年度が始まります。天皇制について触れるわけではありませんが、来年は途中で新しい元号に変わりますので、平成と名のつく年あるいは年度が1年間続くのは今回が最後です。皆さんは高校生の時にある種、社会が大きく変わるという時期を経験することになります。平成30年度を、皆さんにとって印象深い1年にしてほしいと思います。

今年度本校は開校35年目を迎えました。一時期県内で最大規模の学校でもありましたが、現在では1学年4クラス、3年生は5クラスとなっており、ちょうど同じ学年の生徒であれば顔や名前をほとんど知っていると言える、生活しやすい学校になっていると思います。お互いに相手を気遣い、尊重し合って、快適な学校生活が送れるよう配慮をお願いします。また、ここ数年で校舎等の改修も行われました。特に今回新しくグラウンドの散水設備が設置されました。先日試験運転を見ましたが、相当な威力を発揮すると思います。素晴らしい設備が整った学校で、皆さんの生活も充実させてください。

新年度にあたって、皆さんにお願いしたいことが二つあります。一つは、どんなに小さなことでもよいので、努力を続けてほしいということです。その努力というのは、他人と比べる必要はありません。あの人にはあのことができるのに、自分ではできないから駄目だ、と考えなくてもよいです。自分自身の中で、自分が持てる力よりほんの僅かだけレベルの高いことに挑戦をしてください。そして継続してください。皆さんにとって必ず力になります。

もう一つは、自分自身で解決できないことがあった時、自分で対処できないことがわかった時に、そこで諦めてしまうのではなく、対応できる方法を見つけられる力をつけてほしいということです。誰にでも、できないことはあります。できないことをできないままにしてほしくはないのです。他の人に協力してもらってもいいですし、何か参考となる書物を読んで自分で対処の方法を考え出すのもいいです。勉強で理解できない部分があった時、理解につながる方法を見つけ出してほしいのです。

これら、努力の継続とできないことへの対処方法を見つけ出すことによって、皆さんは必ず成長します。

最期にもう一つお願いを加えます。本日午後、新入生160名が入学してきます。皆さんには、ぜひ手本となってほしいのです。当然この場合は良い手本です。良い手本を示すことで、学校全体が活気に満ちて過ごしやすい環境ができあがっていくと思います。

どうか皆さんの協力をお願いします。以上で、始業の言葉とします。